

平成29年度 学校評価書（年度）

学校教育目標

豊かな人間性を育み、たくましく生き抜いていこうとする生徒の育成

〈今年度の重点目標〉

良さを認め合いながら、一歩前に出て活動できる生徒の育成
～「挑戦」「伝統」「誇り」をキーワードとして～



4年目となる嘉手納中交流事業 ～地域の婦人会の方々も一緒に～

大館市立北陽中学校

V 評価

A 学校運営の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

I 組織運営

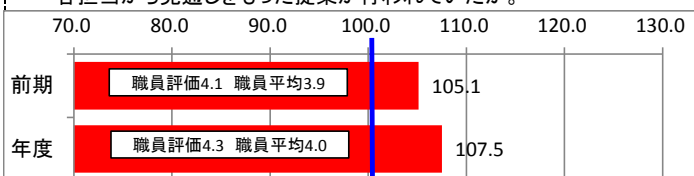
学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
「挑戦」「伝統」「誇り」をキーワードに特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	週一回の学年主任会の開催により、学年間の連携や生徒指導が円滑に機能している。学級担任と副担任との連携した指導を今後も継続してほしい。
	年度	良好	良好	職員の自己評価から、職員個々が組織運営が円滑になされていることを実感できていることが伺える。学校予算や施設の管理等、学校教育を支える環境整備がしっかりと行われている。
の自己評価の概要と学校	〇開校3年目を迎え、「挑戦」「伝統」、そして「誇り」をキーワードに、これまでの実践をさらに発展させようという気持ちで職員が指導にあたっている。学年主任会は生徒支援担当も含めて週1回実施することで、生徒の情報交換のみならず学年間の連携を図ることができている。今後も学年主任が先を見通して、学年部をリードしていけるように継続していきたい。事務職員との連携については、予算管理、設備管理、設備補修等が迅速かつ正確に行われている。スムーズに処理されているが、担当者に任せきりにならず、職員にも事務処理に係る意識をもたせたい。			
	〇「職員組織」に係る全ての項目について前期の数値を上回っており、学校全体として組織的な運営が行われていたと判断できる。運営委員会や学年主任会を機能的に推進することで、各担当者から責任をもった提案がなされるよう働きかけてきたが、会議の長時間化は否めない。今後もさらに検討していきたい。事務職員との連携については、予算管理、設備管理、設備補修等が迅速かつ正確に行われており、前期に引き続き職員平均を大きく上回る結果であった。予算執行や設備補修等、計画的に行われており、職員の仕事や生徒の学校生活に十分に寄与している。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 組織的運営体制の確立	(1) 運営方針の浸透	定期的な三役会(校長、教頭、教務主任)の開催と効果的な運営	3	4
	(2) 学年部組織の強化	学年間の調整を図る「学年主任会」の効果的な運営		
		副担任制を活用した学年組織の強化		
2 諸会議の効果的な運営	(3) 月1回の職員会議運営の工夫	提案事項の事前確認による、機を逃さない指導部長提案の支援	3	4
	(4) 主任層教員間の共通理解の場の確保	定期的な学年主任会と運営委員会の実施		
3 事務職員との連携	(5) 事務処理の効率化・適正化と設備管理	事務職員との連携による事務処理負担の軽減と指導時間の確保	4	5
		定期的な点検による設備管理及び予算管理の適正化		

【1に関連するデータ】

(1) 運営方針の浸透

- 校務部会、運営委員会、職員会議が機能的に推進され、各担当から見通しをもった提案が行われていたか。



グラフは、職員アンケート全項目の評価平均値を100としたときの、当該項目の評価指数を表している。つまり、指数が100を超えていれば、職員は他の施策よりも良好と判断しており、100に届かない場合はその逆ということになる。

【職員アンケート自由記述より】
 ▲事前に校務部会と運営委員会が開かれているのだから、職員会議の進め方をもう少し工夫して時間短縮、あるいは時間をかけるべき所に時間をかけられないか。
 ○事務、校務主事のお二人が迅速に対応してくれるのでものすごく助かっている。

【3に関連するデータ】

(5) 事務処理の効率化・適正化と設備管理

- 事務職員との連携による事務処理負担の軽減がなされていたか？

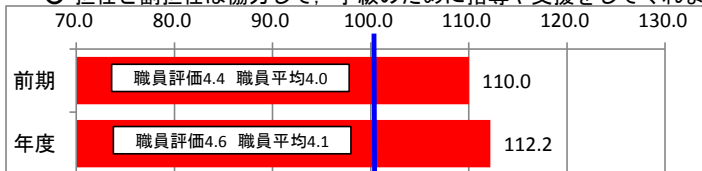


【アンケート種別】 ○生徒 □保護者 ■教職員

【5段階評価】 5:大変よい 4:よい 3:だいたいよい 2:やや不十分 1:不十分

(2) 学年部組織の強化

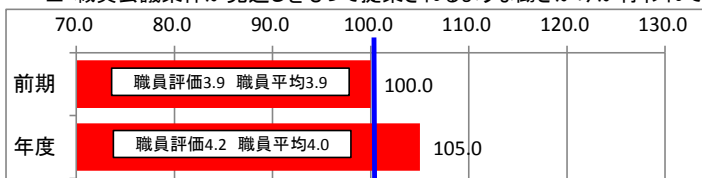
- 担任と副担任は協力して、学級のために指導や支援をしてくれま



【2に関連するデータ】

(3) 月1回の職員会議運営の工夫

- 職員会議案件が見通しをもった提案されるような働きかけが行われてい



- 配当予算が適切に周知され、消耗品の調整及び施設設備補修等が効果的に行われていたか？



ア 学校運営の状況

Ⅱ 教師の研修

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の教育活動のレベルアップのために、教職員の研修が活発に行われている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	相互の授業参観を実施することにより、北陽中学校の授業スタイルが確立している。「できた」「分かった」を実感させる授業への取組を追究し、ステップアップを図ってほしい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	生徒の授業評価アンケートの評価が高く、特にまとめや練習時間の確保、授業の理解についてのポイントが向上し、前期からの改善が図られている。研修の時間は十分にとることができないと思うので、学校の実践により有効なものを精選し、全職員で生かして欲しい。
の自己評価の概要と学校	<p>○全教職員が「チーム北陽」の授業スタイルを実践できるように相互授業参観を実施した。その成果として、50分ものさし、チャイム前学習、意見のつなぎ合い等の基本形は定着が図られてきた。次のステップは、各教科の研究課題に沿った取組を積み重ね、生徒が「できた」「分かった」と実感できる場面を、意図的かつ効果的に設定していくことである。評価や振り返りの在り方を教科の特性を反映させながら追究し、集団の学びを個の力の向上につなげていきたい。</p> <p>○全員での研究会を継続し、校外での研修成果を共有しながら、生徒も教師も互いに高め合っていく「チーム北陽」を目指していく。</p> <p>○生徒の授業を振り返るアンケート結果を見ると、「自分の意見と比べたり、深めたりするような聞き方をしていた」(7)「意欲的に授業に取り組んだ」(10)と答える生徒が増えた。また、「まとめや練習時間の確保」(8)がされ「わかりやすい」(9)授業であったという声も多い。これは、全教職員による授業での共通実践の成果と捉えられる。授業の終末を工夫し、丁寧に指導する意識が高まってきていると感じる。しかし、チャイム学習など取り組み方を反省すべき項目もあるので、3学期はより丁寧な取り組み方をしていきたい。</p> <p>○授業研究会の他、多数の訪問視察により授業力を鍛える場は抱負であった。教職員アンケートからは生徒指導や支援に関する研修会の要望も上がっているため、今後は生徒指導部等の連携を太くしながら研修の持ち方を工夫していくことも考えたい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 授業改善の推進	(6) 学び合い高め合う授業づくり	学習過程に応じた共通実践事項の設定と実践 各教科の研究課題設定と実践 諸検査データの分析と活用	3	3
5 研修の実施及び活用	(7) 「チーム北陽」の資質向上を目指した研修の充実	全員参加型の校内研究会の推進及び相互授業参観の実施 校外研修の促進と研修成果の共有化	3	3

(○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価 {5:大変よい 4:よい 3:だいたいよい 2:やや問題 1:大いに問題}

[4に関連するデータ]

- 学習過程に応じた共通実践事項は実践されていたか。
- 各教科の研究課題への取組はなされていたか。
- 諸検査データの分析と活用がなされていたか。
- 「授業のあいさつ」「聞く態度」「話し方」など、学習の約束を意識して学習できている。
- 自分の思いや考えを相手にしっかり伝え、話し合いながら学習を深めている。

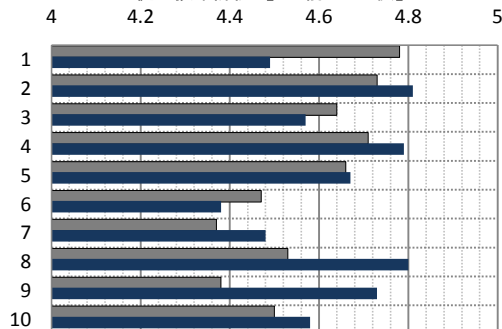
H29前期	年度
4.1	4.2
3.8	3.9
3.7	3.5
3.6	3.7
3.5	3.6



○生徒による授業評価

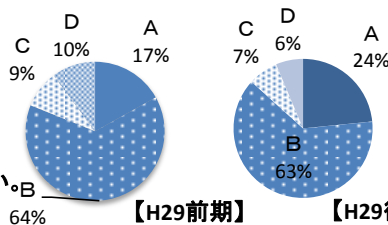
- 1 チャイム前学習を行っていましたか。
- 2 学習課題（めあて）は、学習することやゴールがわかりやすいように示されていましたか。
- 3 先生の質問に対して、自分の考えや思いをもちましたか。
- 4 黒板には、50分ものさしや学習内容がわかりやすく示されていましたか。
- 5 発表や話し合い、意見交換などの友達との活動がありましたか。
- 6 質問や友達の意見を受けて、わかりやすく伝えようとしていましたか。
- 7 自分の意見と比べたり、深めたりするような聞き方をしていましたか。
- 8 学習したことをまとめたり、身に付けたことを使って練習したりする時間が確保されていましたか。
- 9 学習内容はわかりやすいですか。
- 10 あなたは、意欲的に授業に取り組んでいますか。

生徒の授業評価【上:前 下:後】



□学校での教科指導について、お子さんはどのように言っていますか。

- A どの教科も十分指導されている。
- B どちらかというよく指導されている。
- C どちらかというあまりよく指導されていない。
- D どの教科ももっとよく指導してほしい。



[5に関連するデータ]

- 全員参加型の校内研究会や相互授業参観は効果的か。
- 校外研修の促進と研修成果の共有化は図られたか。

H29前期	年度
4.4	4.3
3.7	3.6



ア 学校運営の状況

Ⅲ 特色ある教育活動

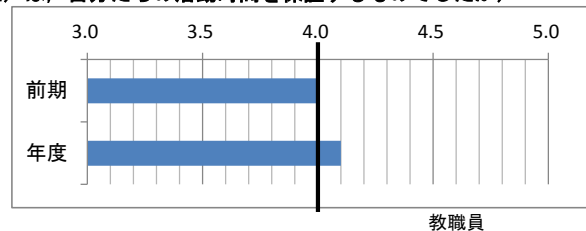
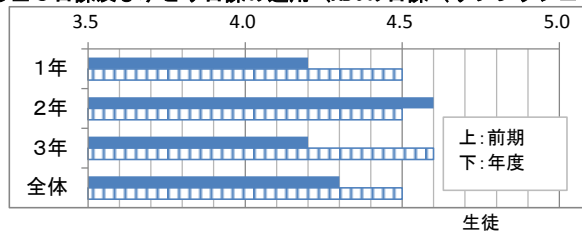
学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
地域に根ざした特色ある教育活動に、誇りと気概をもって取り組んでいる。	前期	おおむね良好	おおむね良好	開校3年目を迎え、北陽中学校の特色が確立してきていると感じる。後期は、2年生がリーダーとして、行事等での達成感を高めてくれることを期待したい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	2年生の達成感、一体感の評価ポイントが大幅に向上し、改善が図られた。3年間の集約をしっかりと行い、学校行事等の精査を図って、教育活動のさらなる充実に努めてほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>○開校3年目となった。初めから「北陽中生」として入学した生徒のみが在籍し、3校統合のまとめの年と考えられる。昨年度も述べたが、今年度は「北陽中スタイル」を完成させる年度とするために、生徒と職員が一体となって取り組んでいる。慌ただしいのは変わらないが、下のアンケートの結果を見ると、生徒や保護者のアンケートはどの項目も昨年度と同じ、または向上し、職員のほうもほぼ昨年度なみの数値となっている。このことから、北陽中の形、というものが少しずつ具体化し、そのことが生徒・保護者・地域に定着してきたことが読み取れる。</p> <p>○前期までの取り組みと、アンケート結果から後期の課題として考えられるのが「職員会議案件や会議の精選」である。会議の段取りがうまくいかず、生徒の活動の見届けが甘くなる場面が見られた。生徒の豊かな活動を保証するためには、職員の見届けが欠かせない。先生方が生徒に寄り添い、よりよい学習や活動に取り組めるように、会議等の持ち方や、必要な情報を生徒や職員に適切に伝える工夫をしていきたい。</p> <p>○北陽中は2歳半となり、人間でいえば「立ち歩きをして行動範囲が広がる」時期か。地域や保護者の協力のおかげで「北陽中らしさ」が見えてきたように思うが、現状に満足せず、生徒たちの「立ち歩き」をサポートできるよう、環境づくりに努めたい。</p> <p>○市教委から「市内の学校統合」についての言及がなされていた。北陽中はそのモデルケースであったと思う。生徒・保護者・地域住民・職員が一体となって歩んできた3年間は、それなりの成果を上げることができた。今年も多く为学校訪問があったのは、北陽中が注目されている証であろう。</p> <p>○アンケートの結果は、全ての項目で前期以上となった。特に「感動をよぶ行事」については、生徒の数値が0.5ポイントも上昇し、保護者も前期に引き続き4ポイント以上と、大変高い評価を受けた。学校祭では「(北陽中生は家族にいないけれど)昨年に続き、また来ました」という地域の方もおり、北陽中の取り組みが学区に浸透してきたことを感じることもできた。</p> <p>○「特色ある教育課程の編成」については、朝の打合せを週2回から1回に減らすなどの多忙感解消の取り組みをしてきたが、まだ足りない部分も多かった。この3年間の取り組みを精査し、継続して取り組むことと、変更または中止(廃止)することの選別も必要になってくるだろう。北陽中学区も生徒数は減り続けている。北陽中が地域を照らす光であり続けるために、より充実感をもてる教育活動について考え取り組んでいきたい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 特色ある教育課程の編成	(8) 生徒の活動を支える日課の工夫	2日課及び特別日課の運用	3	3
	(9) 教育活動を支える見通しある提案	年間予定を見据えた職員会議案件の提示と調整		
7 学校行事等の計画	(10) 感動を呼ぶ学校行事の実現	計画的な行事実行委員会の実施と共通理解の段取り	3	4
		地域連携活動の継続(教育課程及び行事予定への位置付け)		

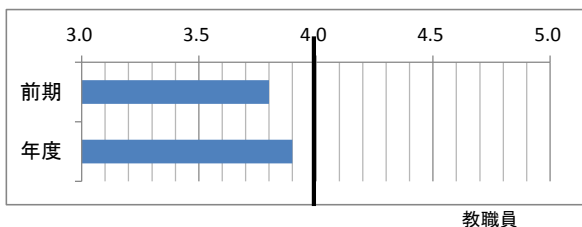
【6に関連するデータ】

※5段階評価{5:大変よい 4:よい 3:だいたいよい 2:やや問題 1:大いに問題}

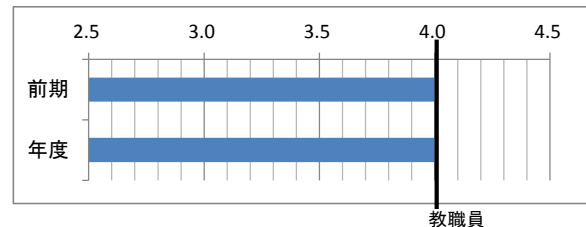
○■3日課及びゆとり日課の運用(ABCの日課(リフレッシュ日課)は、自分たちの活動時間を保証するものでしたか)



■年間予定を見据えた職員会議案件の提示と調整

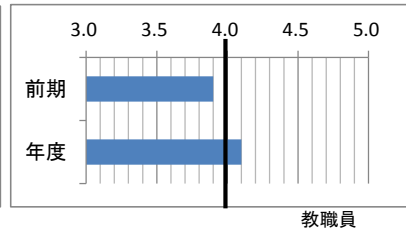
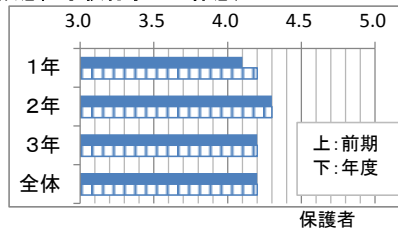
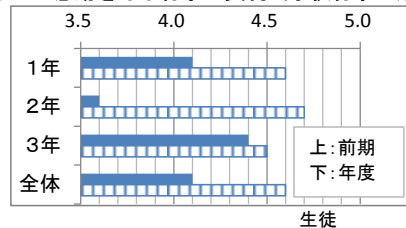


■計画的な行事実行委員会の実施と共通理解の段取り



【7に関連するデータ】

○□■感動を呼ぶ行事の実現(学校行事の達成感、学校行事の一体感)



イ 生徒の状況

Ⅳ 主体的な学習態度・確かな学力

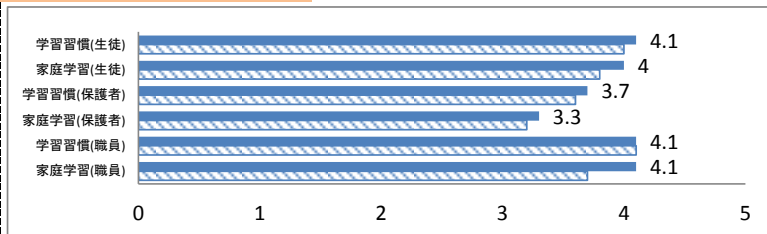
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒が主体的に学習に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身に付けるように取り組んでいる。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	学習態度については、生徒と教員の評価のポイントがほぼ合致し、また、生徒の「授業の充実」に対する評価が非常に高く、学習にしっかりと向き合っていることが伺える。課題の克服に向けた後期の取組に期待したい。
	年度 おおむね 良好	おおむね 良好	課題であった聞き方については、前期に比べて生徒の評価のポイントが向上している。前期同様、授業に対して意欲的な取組を見せていることが伺える。フレンドリー集会に対する生徒の評価数値がほかに比べると低いように感じるので、さらに内容を工夫してほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>○「主体的な学習態度」については、わずかだが、昨年度より高い評価となっている。学習についての個々のがんばりを認める「学習Goodさん」の紹介、家庭学習の手引きの更新と活用、定期テストに向けた家庭学習の意識付けとなる「挑戦カード」の改善と実施等、学習委員を中心に生徒主体の活動を今後も継続したい。</p> <p>○「授業の充実」については、「話す・聞く」の基礎が身に付いてきて、個の考えをもととする意欲や生徒同士で発言をつなごうとする意識に高まりが見られ、生徒主体の授業に近付いてきている。しかし、全体での話し合いにおける聞き方が課題である。聞くことの必要性がもてる学び合いとなるような手立てを講じたい。また、確かな学力につながるよう、研修部と連携し、まとめや振り返りの場を充実させたい。</p> <p>○「生徒の力を高める諸活動」については、ドリル学習の内容を精選して実施した。集会活動での話し合い活動をさらに充実させるため、各部と連携したい。</p> <p>○「主体的な学習態度」については、生徒自身や保護者が生徒のがんばりや成長を認めつつあるものの、職員としては次の高みを目指したいと感じている。家庭学習においては、学習委員を中心とした家庭学習の手引きの更新やアンケート実施、おたよりや入試説明会、PTA学年部会での家庭へのはたらきかけ、小中間での連携ができた。</p> <p>○「授業の充実」については、「話す・聞く」の向上を意識し、より高い目標をもととする生徒の姿が見られるようになった。また、研究部と連携し、生徒の思いや考えを生かした授業構成、まとめ・振り返り場面の充実に向けて、歩みを進めることができた。</p> <p>○「生徒の力を高める諸活動」については、特活部と連携し、特にフレンドリー集会で次のステップを踏むことができた。○今後も、どの点においても、生徒の実態や思いを把握し、先を見据えた実践の継続や改善をしていきたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 基本的学習習慣	(11) 主体的学習態度の育成	各教科共通の「学習習慣項目」の提示と実践 家庭学習充実のための働きかけ(PUN、各教科の学習アドバイス、ノート展)	3	3
9 確かな学力	(12) 授業の充実	1単位時間の効果的なコーディネート(50分ものさし、授業展開の工夫、まとめの充実)	3	3
	(13) 生徒の力を高める諸活動	ハンドサインや話型を手がかりにした言語活動の充実 ドリル学習、集会活動の実施		

※5段階評価 [5:大変よい 4:よい 3:だいたいよい 2:やや問題 1:大いに問題]

〔8〕に関するデータ

主体的学習態度の育成



挑戦カード 6・9・11月実施

第1回定期テスト

＜学習の目標＞ 目標値：20ポイント以上
＜学習の計画＞ 学習計画：学習計画シート

自分て設定した目標を達成するために、効果的な学習方法を選び、実行する！

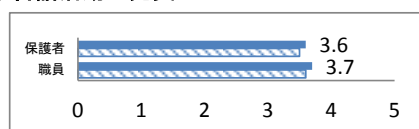
学習計画シート

学習計画シート

〔9〕に関連するデータ

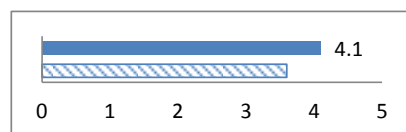
授業の充実

◆言語活動の充実



	前期	年度
生徒	4.7	4.7
発表や話し合い、意見交換などの友達との活動がありましたか。	4.7	4.7
質問や友達の意見を受けて、わかりやすく伝えようとしていましたか。	4.5	4.4
自分の意見と比べたり、深めたりするような聞き方をしていましたか。	4.4	4.5

◆1単位時間の効果的なコーディネート(職員)



	前期	年度
生徒	4.7	4.8
学習課題(めあて)は、学習することやゴールがわかりやすいように示されていましたか。	4.7	4.8
先生の質問に対して、自分の考えや思いをもちましたか。	4.6	4.6
黒板には、50分ものさしや学習内容がわかりやすく示されていましたか。	4.7	4.8
学習したことをまとめたり、身に付けたことを使って練習したりする時間が確保されていましたか。	4.6	4.8

生徒の力を高める諸活動

	前期	年度
生徒	4.3	4.2
ドリル学習で学習内容の定着を図ることができましたか。	4.3	4.2
フレンドリー集会では、お互いの良さを認めたり、自分の考えを積極的に話したりすることができましたか。	3.8	3.7
職員	3.7	4.0
ドリル学習、集会活動は効果的に実施されたか。	3.7	4.0

イ 生徒の状況

V 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、明るく心のこもった挨拶など規律ある落ち着いた生活を実現している。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	教職員の評価が昨年度より上がり、生徒の生活の状況が昨年度より落ち着いていることがわかる。メディアコントロールの問題は、北陽中のみの課題ではないと感じるが、生徒の自主的な活動を促すなど、自己管理能力の向上を図ってほしい。
	年度 おおむね 良好	おおむね 良好	生活習慣やメディアコントロールの課題は、生徒や家庭の意識に大きく左右されると思う。課題ではあるが、ゲームやスマホは当たり前の必需品になっているので、学校は、生徒や保護者がしっかりと判断できるための情報提供に尽力してほしいと思う。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>○「あやめ運動」(元氣なあいさつ、やくそくを守る、めあてをもって)に関する項目で、生徒は3.9教職員は3.8～3.9と4に近い評価だった。生徒は落ち着いた生活を送っており、あいさつも4月からだんだん元氣よくできるようになってきた。教職員間では、共通実践事項を確認したり、生徒指導上の問題が発生した場合には一つ一つ対応してきた。保護者は3.5とやや低い評価になってしまった。学校では立派なあいさつができていても、家庭ではなかなかできないのが現状である。まずは学校で、次に地域でもとあいつの輪を広げていけるよう引き続き、励ましながら指導に当たりたい。</p> <p>○もっとも低い数値だったのが、生徒も保護者も3.0のメディアコントロールである。「夜9時以降のノーメディア」は就寝時刻や朝食など健全な生活習慣にもつながっていくので、折に触れて指導していきたい。</p> <p>○「あやめ運動」に関する項目で生徒・教職員の評価が下がったが、生徒は各行事に意欲的に取り組み、全体として落ち着いた生活を送っている。生徒指導上の配慮が必要な生徒については、情報交換しながら対応してきているが、教室に入れず別室で過ごす生徒が出てきていることが新たな課題となっている。原因は様々であるが、今後もスクールカウンセラーの活用や家庭との情報交換・連携を大事にしながら、生徒の気持ちに寄り添い支援していきたい。メディアコントロールについては、チャレンジカードや教科指導等を通して働きかけているが、生徒・保護者共に評価が低い。小・中連携研究会でも話題にしているが、今後も共通した意識で家庭への働きかけが必要だと思われる。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
10 規律ある学校生活	(14) 集団生活のきまりの理解と遵守	「あやめ運動」の推進と自律心の育成 生徒指導共通実践事項の設定と実施 地域・保護者や近隣小学校と連携した安全指導の推進	3	3
11 心身の健康の保持増進	(15) 健全な生活習慣の育成	保護者を巻き込んだメディアコントロール運動の定着 早寝、早起き、朝ごはんの啓発と体力向上の働きかけ	3	3
12 教育相談の実践	(16) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解 (17) 理解と指導をつなぐ「見立て力」の向上	「いつでも、どこでも」教育相談の推進 多様な手立てによる生徒理解 定期的な生徒を語る会と関係機関と連携した事例検討会の実施	4	4

(○生徒 □保護者 ■教職員)

【10に関連するデータ】

※5段階評価[5:大変よい 4:よい 3:だいたいよい 2:やや問題 1:大いに問題]

(14) 集団生活のきまりの理解と遵守

- 「あやめ運動」を意識した学校生活を送ることができましたか。
○学校生活のきまりを、しっかり守ろうとしましたか。
□「あやめ運動」(元氣なあいさつ、やくそくを守る、めあてをもって)により、規律ある学校生活が実現していると思いますか。
□小学校や地域と連携した安全指導が、効果的に進められていると思いますか。
■「あさこえ運動」では、担当者による生徒の状況把握や指導が行われていたか。
■生徒指導共通実践事項についての共通理解が図られ、全校体制で指導の徹底が図られていたか。
■安全指導を推進する上で、小学校や地域と連携を図っていたか。

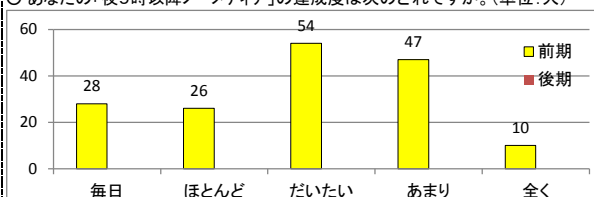
H29前期	H29年度
3.9	3.8
4.2	4.0
3.5	3.6
3.7	3.7
3.8	3.7
3.9	3.9
3.9	3.9



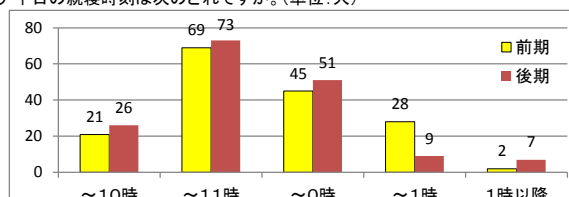
【11に関連するデータ】

(15) 健全な生活習慣の育成

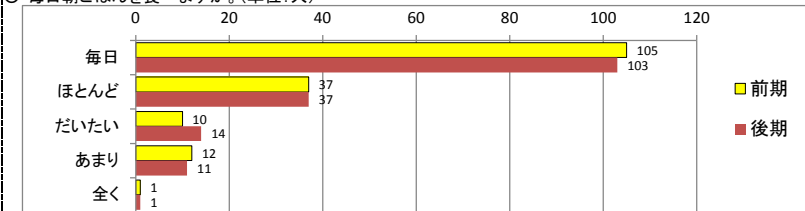
○あなたの「夜9時以降ノーメディア」の達成度は次のどれですか。(単位:人)



○平日の就寝時刻は次のどれですか。(単位:人)



○毎日朝ごはんを食べますか。(単位:人)



○メディアコントロールを意識して、夜9時以降は控えるようにしましたか。

□家庭でのメディアコントロールの働きかけは適切ですか。

□学校の取組(チャレンジカードなど)は、「早寝、早起き、朝ごはん」の意識化に役立っていますか。

■「メディアコントロール運動」の取組について、家庭の理解を得る働きかけが行われていたか。

H29前期	H29年度
3.4	3.4
3.0	3.0
3.1	3.1
3.0	3.3

【12に関連するデータ】

(16) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解 (17) 理解と指導をつなぐ「見立て力」の向上

○悩み、困りごとを、友達や先生に相談できる雰囲気がつくられていると思いますか。

○より良い学級、学年にしようとしてきましたか。

■担任・副担任やSCによる教育相談が機を逃さずに行われていたか。

■多様な手立てによる生徒理解が行われていたか。

■生徒を語る会や事例検討会が確かな状況把握をもとに行われていたか。

H29前期	H29年度
4.0	4.1
4.2	4.3
4.0	4.3
4.0	4.0
3.9	3.9

イ 生徒の状況

VI 思いやりの心,たくましい心

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
一歩前に出て積極的に活動に取り組み,お互いの良さを認め合い,協力し合うことができる,豊かな人間性を育てている。	前期	良好	良好	生徒同士がお互いを認め合いながら協力し,自主的に行事に参加し,高め合おうとする意識が高い。様々な活動を通して,生徒は自分の成長を感じてきている。活動の全体の様子をしっかりと捉えながら,個々の育ちへの支援を継続してほしい。
	年度	良好	良好	学級での活躍の機会が前期よりも多くなり,お互いを理解し合いながら協力して集団づくりに取り組もうとする生徒の姿がある。学校行事での達成感を感じている生徒も非常に多い。副担任とのTTIによる学級経営の推進については,教師よりも生徒の評価ポイントがずっと高く,個々への支援の充実が図られていることが分かる。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>○朝の会では,日直がスピーチしたりスピーチをしたことに対して質問をし合う場面を作っている。帰りの会では,生徒が誰かのために行った行為を紹介し合う「ちょいボラ」,今週特に頑張った生徒を決める「今週の輝く生徒」など,生徒が本音で語り合える場面を意図的に設定することができた。副担任制で学級を見ることによって,生徒の様子や提出物を細やかに見取ることができ個別に対応することができた。学級委員や実行委員,委員会をさらに活用して,生徒の自主性を育みたい。</p> <p>○学校行事(運動会)は,学級委員や実行委員,各担当リーダーが中心となって取り組み,各学級が一つにまとめることができた。限られた時間の中で,生徒自らが話し合っって主体的に練習計画を立て,目標に向かったことがよかった。</p> <p>○「フレンドリー集会」のテーマを行事に関連づけたり必要感のあるテーマにすることができた。「あやめ運動」についても全校で話し合い,委員会活動などで目に見える形にしたことで,生徒達が自分たちで自分たちを律しようとする気持ちが育ちつつある。</p> <p>○生活班の班長,学習長,生活長から呼びかけがあったり,週末には今週の輝く生徒を発表しあったり,委員会の連絡をするなど,朝の会や帰りの会で活躍する場面を前期よりも作ることができた。副担任と一緒に学級を見ることによって,課題の提出が難しい等,困っている生徒に対してきめ細やかな対応をとることができた。</p> <p>○フレンドリー集会では,北陽中が誇れることの根底にあるものについて全校で考えた。「地域への感謝」の気持ちと「全員で(行事等を)創る」という2つが根底にあるものであり,それを北陽魂と名付けようと全校で確認することができた。たくさん発表すれば良いという集会から,発表したことをつなげ,深める集会へとねらいのレベルを上げたことが,生徒評価がダウンした理由と考えられる。</p> <p>○学校祭では,テーマ「考進 燦然と輝け,君の瞳の太陽を」を達成すべく,各部門長や各班のリーダーが中心となって取り組むことができた。限られた時間で,生徒達がアイデアを出し合い,協力して取り組むことができたことが,学校行事の達成感アップにつながっている。PTA合唱に「秋田県民歌」を取り入れる等,保護者の皆さんと一緒に創り上げる学校行事への取組は継続したい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
13より良い集団生活を目指す学級・学年活動	(18) 本音で語り合える学級・学年づくり	TTIによる学級経営の推進(副担任制度の導入と活用)	4	4
	(19) 学校行事を生かした「高め合う学級・学年づくり」	朝の会,帰りの会の工夫,話し合い活動の充実,学年集会の実施 リーダーを中心とした学級・学年集団の育成(リーダーシップ,フォローアップの育成)		
14新しい校史を刻む気概ある生徒会活動	(20) 成し遂げる気概にあふれた学校行事	生徒会による生徒主体の学校行事づくり	4	4
	(21) 「あやめ運動」を通した創造的委員会活動の推進	「あやめ運動」を通した新しい校風を創る日常活動の創意工夫 定期集会での委員会発表の工夫		

(○生徒 □保護者 ■教職員)

[13に関連するデータ] ※5段階評価[5:大変よい 4:よい 3:だいたいよい 2:やや問題 1:大いに問題]

(18) 本音で語り合える学級・学年づくり	H29前期	H29年度
○お互いの良さを認め合いながら,協力して学級づくりに励むことができましたか。	4.4	4.5
○朝の会や帰りの会で活躍する場面がありましたか。	3.9	4.3
○担任と副担任は協力して,学級のために指導や支援をしてくれましたか	4.4	4.6
■副担任制を活用した学級経営が図られていたか。	3.9	4.0
■朝の会,帰りの会は,生徒の自主性を育てる工夫がされていたか。	3.6	3.9

(19) 学校行事を生かした「高め合う学級・学年づくり」	H29前期	H29年度
○フレンドリー集会では,人前で自分の考えを積極的に話すことができましたか。	3.8	3.7
○よりよい学級,学年にしようと努力することができましたか。	4.2	4.3
■リーダーを中心とした学級集団づくりの育成が図られていたか。	3.8	3.9

[14関連するデータ]

(20) 成し遂げる気概にあふれた学校行事	H29前期	H29年度
○学校行事での達成感ほどの程度でしたか。	4.1	4.6
□学校行事は,学級や学年が一つにまとまって活躍できる行事でしたか。(北陽中祭,嘉手納交流,なべっこ等)	4.2	4.3
□保護者の皆さんと一緒に創り上げる学校行事になっていましたか。	3.6	3.6
■生徒会による生徒主体の学校行事が図られていたか。	3.8	4.3

(21) 「あやめ運動」を通した創造的委員会活動の推進	H29前期	H29年度
○よりよい学校を作ろうと,生徒会活動に積極的に取り組みましたか。	3.7	3.8
○他の人の役に立つ行動や他の人を思いやる行動ができましたか。	4.1	4.3
■「あやめ運動」を通した新しい校風をつくる日常活動の工夫が行われていたか。	3.6	3.6



北陽中が誇れることを話し合ったF集会



考進し,燦然と輝いた北陽中祭



地域の方と結びつきを強めた防災活動

◇8月の地域防災活動への参加状況(人) ◇1月の地域防災活動への参加状況

生徒	地域住民	小学生
146	162	90

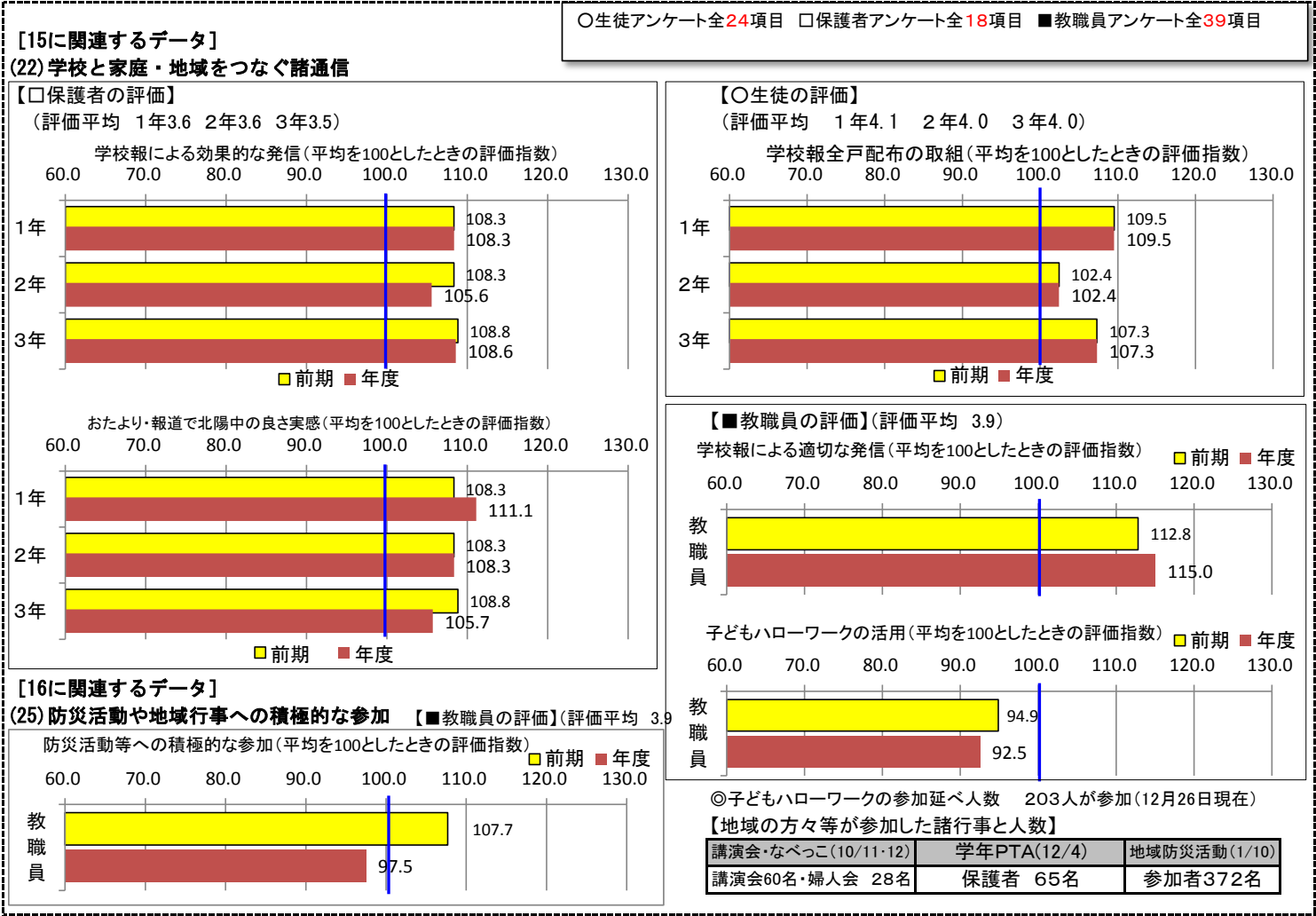
生徒	地域住民	小学生
149	110	113

ア 学校運営の状況

Ⅶ 保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
保護者地域との信頼関係を積極的に構築するとともに、具体的連携の基礎を築いている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	防災活動に関しては、保育所や小学校との連携が図られ、地域の行事等に中学生が参加する姿が多く見られる。学校だよりや学年だよりを活用して、活動の具体的な様子をさらに発信し、保護者や地域からの理解を一層深めてほしい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	学校報や学年だより等の情報発信が効果的だと評価している保護者のポイントも高く、学校の理解や支援・協力につながっている。防災活動は、中学生が直接小学生に働きかけたり、小学校の町内ボランティア等と連携しながら活性化していくなどの取組も考えられるのではないだろうか。
の自己評価 善評価 策の概要と 学校	○4月当初に、三地区の行政協力員の会合に出席し、学校報配付の協力を依頼をした。学校報を全戸に配布する取組は保護者や生徒の評価も高いので、今後も継続していきたい。統合後のPTA活動の積極的な推進についての手立てを講じなければならないと思われる。 ○子どもハローワークの活用は昨年と同様に自分から希望する参加が多く見られるが、同じ人が何度も活用している一方、全く活用しない生徒もいるのが現状である。夏の防災活動には小学校の協力もあり、小中合同で活動する町内が多く見られた。夏の活動は、熱中症予防のために朝の早い時間帯に設定したい。 ○学校祭ではPTA役員を中心とし、積極的な活動が行われたおかげで昨年度よりもバサーと食堂部門において利益増となった。学校報は、地域での生徒の活動の様子が伝わるような内容を心がけた。また、講演会については、学校報と共に案内を配布した結果、地域の方々の来校も多く、楽しんでいただくことができた。 ○子どもハローワークの中で特に地域の活動(児童クラブ学習会ボランティア等)については、厚生委員会による宣伝で希望者の拡大を図った。市内学校の中でも延べの参加生徒数は多いが、参加していない生徒もいる現状は変わらない。冬の防災活動については、天候が心配されたが、各地区の協力のおかげで有意義な活動を行うことができた。冬の活動については、特に人数の少ない地区について今後どのようにしていくかが課題となる。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
15 情報の発信の工夫	(22) 学校と家庭・地域をつなぐ諸通信の発行	統合3校区を網羅する学校報配布システムの構築と運用	4	4
16 大館盆地の教育力の活用	(23) PTA活動の活性化	PTA活動への積極的支援と働きかけ	3	3
	(24) 職場体験・子どもハローワークの積極的活用	将来に対する夢や目標を育む実践		
	(25) 防災活動や地域行事への積極的な参加と貢献活動	3地区の地域行事に対する参加計画の立案・積極的アピール 防災活動を柱とした地域ボランティアの推進		



全 体 コ メ ン ト

平成30年2月9日（木）
北陽中 2階会議室

総合コメント

○北陽中学校が開校して3年が過ぎ、生徒も先生方もその歩みが確実に成果をあげていることに自信をもっている。課題は山積していただろうが、生徒たちの元気とがんばり、職員の熱意溢れる取組、保護者・地域の協力が一体となって現在の姿を創り上げたことに敬意を表したい。

口頭による助言

○生徒のヒアリングから、明確な将来の夢をもち学校生活を送っていることが伝わってきた。家庭学習についても、それぞれ自分なりのスタイルで頑張っているということが分かった。

○特別支援学級在籍の生徒の保護者からは、学校の様々な支援のおかげで、子どもが成長できていることがありがたいという話があった。

○悩みを抱える生徒も多い中、生徒の気持ちに寄り添い、一生懸命に考え対応してくれている。

○開校からの3年間をしっかりと振り返って課題を明確にし、4年目に向けて改善していったほしい。

北陽中学校 学校関係者評価委員

大坂谷 征志

佐藤 博昭

小坂 正昭

菅原 晶子

花岡 郁男